

令和4年度

教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に係る点検・評価報告書

釜石市教育委員会



# 目 次

I	はじめに	1
	(参考)第六次釜石市総合計画※抜粋	2
II	教育委員会の活動	3
1	教育委員会議	
2	総合教育会議	
3	会議以外の主な活動	
III	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果	4
1	点検・評価の基準	
2	点検・評価の体系	
3	点検・評価の結果	
	基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成	
	実施施策 (1)生きる力を育む学校教育の充実	5
	基本施策 2 子どもを育む環境づくり	
	実施施策 (1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	16
	(2)教育環境の充実とさらなる向上	23
	基本施策 3 生涯学習・スポーツの振興	
	実施施策 (1)学びと実践が循環しつながりをつくり出す生涯学習社会の形成	37
	基本施策 4 歴史・文化・芸術文化の振興	
	実施施策 (1)歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進	46
	(2)橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信	53
	「令和4年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価調書」有識者からの意見聴取会意見(要点)	56

## I はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に基づき、令和 4 年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検並びに評価結果を取りまとめたものです。  
点検及び評価に当たっては、令和 3 年 3 月策定の「第六次釜石市総合計画」の基本目標 4「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の施策の体系に基づいて整理しました。
- 事業は、教育委員会の事務及び市長部局が補助執行している教育委員会の事業（釜石市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則（平成 29 年釜石市教育委員会規則第 2 号）第 2 条）を範囲とし、「第六次釜石市総合計画」の実施計画に掲載された事業、令和 4 年度における主要事業等を対象としました。
- 評価は、担当課において対象事業の自己評価を行い、その評価の内容、妥当性等について学識経験者の知見の活用を図り二次評価しました。

### 釜石市教育委員会委員名簿

委 員	福 成 菜穂子
委 員	中 田 義 仁
委 員	花 輪 妙 子
委 員	佐 野 茂 樹
教 育 長	高 橋 勝

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

**第 26 条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「第六次釜石市総合計画」※抜粋

**【目指す釜石の将来像】**  
**一人ひとりが学びあい**  
**世界とつながり未来を創るまちかまいし**  
**～多様性を認めあいながらトライし続ける不屈のまち～**

◎ 5つの基本目標 (点検・評価の対象：基本目標4)

基本目標1：〔保健福祉〕あらゆる人の幸せをみんなで作るまち

基本目標2：〔生活環境〕人と自然が共存して安心して暮らせるまち

基本目標3：〔産業雇用〕未来をつくる人と産業が育つまち

基本目標4：〔教育文化〕地域と人のつながりの中でみんなが育つまち

※抜粋

— 《未来を担う子どもたちの育成》

(実施施策) ○生きる力を育む学校教育の充実

— 《子どもを育む環境づくり》

(実施施策) ○地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

○教育環境の充実とさらなる向上

— 《生涯学習・スポーツの振興》

(実施施策) ○学びと実践が循環しつながり創出する生涯学習社会の形成

— 《歴史・文化・芸術文化の振興》

(実施施策) ○歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

○橋野鉄鉦山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

基本目標5：〔危機対応〕過去に学びみんなが命を守れるまち

## II 教育委員会の活動

教育委員会では、教育行政の執行にあたり、5人の委員で構成される合議制の教育委員会議定例会を毎月開催するとともに、必要に応じて教育委員会議臨時会を開催し、基本方針の決定や各種議案を審議し、教育行政の適正な運営に努めました。

また、市長と教育委員会が教育の課題や方向性を共有して、連携を深めながら教育施策の協議、調整を行う場として、新しい教育委員会制度に対応した総合教育会議を年2回開催しています。

会議以外の活動としては、教育長及び教育委員による学校訪問を行うとともに、学校の各種行事に参加することで、学校現場や教育環境等の状況把握に努めています。

### 1 教育委員会議（開催数）

定例会	12回
臨時会	3回
合計	15回

### 2 総合教育会議

第1回（令和4年7月14日）

#### 【協議内容】

- ・不登校児童生徒の状況及び増加の要因について
- ・不登校問題に対する学校並びに教育委員会の対応と課題について

第2回（令和5年2月20日）

#### 【協議内容】

- ・釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針（案）について
- ・学校規模適正化推進室の今後の推進体制について
- ・学校規模の適正化・適正配置の推進における課題について

### 3 会議以外の主な活動

#### (1) 学校訪問

釜石市立小佐野小学校	（令和4年7月6日）
釜石市立釜石東中学校	（令和4年7月12日）

#### (2) 学校公開研究会

釜石市立甲子中学校	（令和4年11月1日）
釜石市立栗林小学校	（令和4年11月16日）

#### (3) 入学（園）式及び卒業（園）式

市内各小中学校（幼稚園）	（4月及び3月）
--------------	----------

### Ⅲ 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果

#### 1 点検・評価の基準

評価	取組内容（結果）
S	計画を大きく達成し、目標の 100%以上の成果となった。
A	計画を達成し、目標の 100%の成果となった。
B	計画を概ね達成し、目標の 80%以上の成果となった。
C	計画の遅れにより、目標の 60%以上の成果となった。
D	計画の大幅な遅れにより、目標の 60%未満の成果となった。

#### 2 点検・評価の体系

個別事業の点検・評価は、「第六次釜石市総合計画」の基本目標 4「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の施策の体系に基づき、次の区分により整理しました。

基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成

【実施施策】 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

基本施策 2 子どもを育む環境づくり

【実施施策】 (1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

(2) 教育環境の充実とさらなる向上

基本施策 3 生涯学習・スポーツの振興

【実施施策】 (1) 学びと実践が循環しつながり創出する生涯学習社会の形成

基本施策 4 歴史・文化・芸術文化の振興

【実施施策】 (1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

(2) 橋野鉄鉾山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

### 3 点検・評価の結果

#### **基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成**

##### **実施施策 (1) 生きる力を育む学校教育の充実**

事業名	「いのちの教育」の推進・実践		令和4年度 決算額	※ 374,000 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
目的	釜石市の学校教育の目標である「強く生き抜く力」の育成を図るために、各小・中学校における防災教育を核とした「いのちの教育」の充実を図るもの。			
内容	<p>各学校の「いのちの教育」担当者に対して、研修や授業支援等を行うとともに、各学校での「いのちの教育」の実践を市内各学校で共有するための実践事例集を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、教育研究所の「こころの教育研究班」と連携し研修会を年3回実施</li> <li>・小学校における防災教育の授業支援</li> <li>・「いのちの教育」実践事例集の作成</li> </ul>			
成果・課題	<p>「いのちの教育」に関わる研修を行うことにより、担当者がしっかりと理解し、各校の取組につなげることができた。</p> <p>「いのちの教育」実践事例集を作成し、各校に頒布することで、それぞれの学校の取組の良さ等を共有することができた。</p> <p>各校での「いのちの教育」の取組を継続し、資質や能力の向上につながる活動にしていく必要性がある。</p>			
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）	

※決算額は管理事務費の一部（印刷製本費いのちの教育実践事例集印刷費）

事業名	外国語指導助手設置事業	令和4年度 決算額	9,186,697 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		



目的	英語によるコミュニケーション能力の向上と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するもの。		
内容	<p>外国語指導助手（ALT）3名による学校訪問を行い、担任が主となって授業を進める際に、児童生徒に適切な発音方法を教え、英語でコミュニケーションを図れるよう補助的な役割を担った。また、幼稚園やこども園を訪問し、幼少期においても英語に触れる機会を創出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）による学校訪問回数（年間） 428回 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 250回</li> <li>中学校 160回</li> <li>幼稚園・こども園 18回</li> </ul> </li> </ul>		
成果・課題	児童生徒が英語に親しんだり、英語を適切に話したり聞いたりできるような関わりをもち、コミュニケーションを図ることの楽しさを経験する機会となっている。また、授業改善にも積極的に取り組み、教員個々の授業力の向上が図られた。		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教育研究事業	令和4年度 決算額	602,211円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	幼稚園及び小中学校における学校課題の解決に向け取り組み、学校運営の円滑化と教育活動の充実・向上を図るもの。		
内容	<p>市内教育団体（釜石市小中学校長会等）に対し教育研究業務を委託し、各種課題の解決に向けた協議・研究を行った。</p> <p>公開校（栗林小学校、甲子中学校）及び指定校（釜石小学校、唐丹小学校）を設け、学校ごとに課題を明らかにし、テーマを沿った教育研究を進めた。</p> <p>【公開校】（R3指定校、R4年度公開校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗林小学校（参加人数71名）</li> </ul> <p>複式指導と算数科の授業に重点を置いた授業改善を通して、児童の思考力の向上と粘り強く課題解決に取り組ませる。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲子中学校（参加人数 100 名） 生徒が主体的に学ぶことを目指して教師の授業改善を図ることで粘り強く思考し、学習に取り組ませる。</li> <li>【指定校】（R4 指定校、R5 年度公開（予定）校）</li> <li>・釜石小学校、唐丹小学校ともに国語を研究教科とし、読むことについての指導過程のあり方を明らかにする実践研究に取り組んでいる。</li> </ul>		
成果・課題	<p>学校公開により、授業実践を日頃から積み重ねることで校内研究の充実が図られ、市内教職員にも共有され、意識を高めることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小（学校公開については釜石市と大槌町に限定、教育研究業務も校長会の視察の中止等）しており、通常規模での開催に向けて検討が必要である。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	釜石市学校文化体育振興会運営費補助金	令和 4 年度 決算額	1,138,249 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	児童生徒の健康増進及び文化体育の向上を図るもの。		
内容	<p>児童生徒の健康増進及び文化体育に関する事業を行う釜石市学校文化体育振興会に補助金を交付した。</p> <p>&lt;補助金の用途&gt;</p> <p>○小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県小学生陸上競技交流大会等のスポーツ大会参加費補助</li> <li>・岩手県理科研究発表会等の文化的大会参加費補助</li> </ul> <p>○中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県中学校総合体育大会、東北中学校総合体育大会、岩手県中学校新人大会等の中体連主催大会参加費補助</li> <li>・岩手県吹奏楽コンクール、岩手県アンサンブルコンテスト等の大会参加費補助</li> <li>・合同部活動が練習等を実施する際の交通費補助</li> </ul>		

成果・課題	<p>市内小中学生が参加する各種大会参加費の補助を実施し、児童生徒の健康増進及び文化体育の向上が図られた。</p> <p>中学校の部活動において、生徒数の減少等により、学校を超えて合同で部活動を実施する種目が増え、移動時等における保護者等の負担が増えていることから、交通費相当額を補助し、保護者の負担軽減が図られた。</p> <p>一方で、合同部活動の交通費補助を不要とする学校もあったことから、各中学校への適正な予算配分等を再検討する必要がある。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	防災教育・復興教育推進事業	令和4年度 決算額	1,852,695 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛しその復興・発展を支える人材を育成する。</p> <p>※岩手県からの委託事業（事業実施校は意向調査をもとに岩手県が決定）</p>		
内容	<p>① いわての復興教育スクール＜沿岸＞ 事業実施校：釜石中学校（1年） 郷土の歴史や文化について知る学習に取り組むことで、地域や郷土についての理解を深める。校外学習として、橋野鉄鉱山、いのちをつなぐ未来館、鉄の歴史館、郷土資料館を見学し、たたら製鉄（鉄づくり）体験を実施した。</p> <p>② 交流学习スクール 事業実施校：釜石中学校（3年） 生徒同士の交流を通して、復興・復旧の現状を理解し、復興やまちづくりへの参画意識を高め、自分の住む地域の良さを再確認する。 ・北海道胆振地区の生徒との交流</p> <p>③ 震災学習列車活用スクール 事業実施校：釜石中学校（2年） 三陸鉄道の震災学習列車に乗車し、復興の様子を自分の目で見る活動を通して、東日本大震災について学習し、自然災害への心構えについて学ぶ。 （陸前高田コース、大船渡コース、田老コース、大槌コースの4コース）</p>		
成果・課題	<p>目的に沿った事業を実施することができた。</p> <p>① いわての復興教育スクール＜沿岸＞ 取り組みを通して、郷土の歴史を知り、郷土の良さに気づき、積極的に発信しようとする意欲をもたせた。</p>		

	<p>② 交流学习スクール 地域の特性に合わせた形で防災学習を進めていることや、防災の知識の活かし方を考えることができた。</p> <p>③ 震災学習列車活用スクール 震災当時の被害と復興の様子について学び、今の自分ができること、未来のためにできることを考えるきっかけになった。</p> <p>岩手県からの委託事業として実施しているため、県の事業が廃止となった場合、市単独の事業として継続していくか検討が必要である。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	ICT 支援員配置事業	令和 4 年度 決算額	2,952,153 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	急速に進む学校の ICT 化による学校現場の負担を軽減し、児童生徒の学びのために ICT 環境のさらなる有効活用を図るもの。		
内容	<p>専門的な知見を有する ICT 支援員を配置し、研修会や授業支援を実施することで教員の ICT 活用をサポートした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置人数 1 名、月 96 時間</li> <li>・管理職向けの情報セキュリティ研修の実施 1 回</li> <li>・Microsoft Teams を活用した相談、支援、情報共有体制の確立</li> <li>・教職員からの質問、サポート依頼への対応、学校訪問</li> <li>・Teams 上の連絡・問い合わせに対応した回数 約 50 回</li> </ul>		
成果・課題	<p>ICT 支援員が学校現場での ICT の活用を多面的に支援し、併せてトラブル等を解決することで、教職員や児童生徒が安心して ICT 環境を活用することができた。</p> <p>各校では、ICT 機器が積極的に活用されていることから、これまでの支援策に加え新たな取組を検討するなど、教職員のニーズに応じたサポート体制を構築し、更に ICT を活用した教育環境の充実につなげる必要がある。</p>		

評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
----	---	--------	--

事業名	ICT 活用教育推進事業	令和 4 年度 決算額	30,099,960 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	ICT の活用により小中学生の主体的な学びを促し、確かな学力の育成を図るため、必要な環境を充実・整備するもの。		
内容	<p>従来の ICT 環境に加え、GIGA スクール構想により整備された児童生徒 1 人 1 台端末を小中学校が有効に活用できるよう、ICT 支援員と連携して環境整備及び支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT 機器及び周辺機器賃借料</li> <li>・ 授業支援ソフト及びプログラミング教材賃借料</li> <li>・ 市内小中学校からの問い合わせ対応、必要に応じて学校訪問（教育委員会への問い合わせ 103 件、うち学校現地対応 60 回）</li> <li>・ 学校現場の需要に応じた授業支援アプリ（ロイロノート）の試験導入</li> </ul>		
成果・課題	<p>各校において Microsoft Teams や授業支援アプリ（ロイロノート）を活用した意見等の共有、ドリルソフトを活用した個別学習等が実施され、児童生徒の主体的な学びや確かな学力の育成に繋がる環境を維持した。</p> <p>学校や教員によって ICT の活用頻度に大きく差があり、より有効に活用できるよう必要な支援を今後も継続する必要がある。</p> <p>ICT 環境をより有効に活用するため、ICT を苦手とする教員への支援を実施して底上げを図る。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	要保護・準要保護児童生徒援助費	令和4年度 決算額	○小学校 学用品費等 14,101,789 円 学校給食費 18,732,621 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 学用品費等 14,500,532 円 学校給食費 12,886,118 円
目的	経済的理由で就学困難な小中学生の保護者に対し、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るもの。		
内容	<p>学用品費等（通学用品費、校外活動費、修学旅行費、児童・生徒会費等）及び学校給食費等の援助を行った。</p> <p><b>【小学校】</b>  要保護：8人 準要保護：396人  準要保護（小学校入学前学用品費支給者）：39人  学校給食費援助人数（準要保護のみ）：398人  ※人数は援助した児童数（転出等により年度途中で援助が終了した児童も含む。）  ※準要保護と学校給食費援助人数が異なるのは、年度途中で準要保護から要保護に変わった児童のうち、1食でも学校給食費の援助を受けている場合は人数にカウントしているため。</p> <p><b>【中学校】</b>  要保護：0人 準要保護：243人  準要保護（中学校入学前学用品費支給者）：54人  学校給食費援助人数（準要保護のみ）：241人  ※人数は援助した生徒数（転出等により年度途中で援助が終了した生徒も含む。）  ※準要保護と学校給食費援助人数が異なるのは、長期欠席などにより給食の提供が0食の生徒がいるため。</p>		
成果・課題	<p>経済的理由で就学困難な小中学生の保護者に対し必要な援助を行った。</p> <p>被災児童生徒就学援助事業費補助金（県補助金）が今後継続されるのか不透明な状況であり、一般財源のみとなった場合、現在の認定基準（生活保護基準×1.3倍未満）で事業を継続することができるのか、認定基準の見直しや財源確保を含めた検討を継続して行う必要がある。</p>		

評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
----	---	--------	--

事業名	特別支援教育就学奨励費	令和4年度 決算額	小：613,473円 中：135,683円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、必要な経費について、その一部を補助することで、特別支援教育の普及奨励を図るもの。		
内容	学用品費、修学旅行費、学校給食費等の一部を補助した。 小学校：21人 中学校：3人		
成果・課題	<p>必要な経費について、その一部を補助することで、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>要保護・準要保護児童生徒援助費の認定基準額と比べ、所得の認定基準額の上限額が高くなっていることから、給食費は半額補助、修学旅行費には上限が設けられており、要保護・準要保護児童生徒援助費と同等の補助基準にすべきか、国庫補助を注視しながら検討する必要がある。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	友好都市中学生相互交流事業 (朝日町交流事業)	令和4年度 決算額	0円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		

目 的	朝日町との交流を通して互いの市町の良さを学び合い、よりよい学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資するもの。		
内 容	<p>【実施日】 令和 5 年 1 月 26 日 (木)</p> <p>【時間】 6 校時 (14 : 35～15 : 25)</p> <p>【参加者】 富山県朝日町立朝日中学校 2 学年 71 名 岩手県釜石市立唐丹中学校 1・2 年 15 名 (3 学年 5 名は参観)</p> <p>【交流方法】 Teams によるオンライン交流 *唐丹中学校は、特別教室で実施</p> <p>【内容】 互いの市町の紹介、学校として力を入れていることなどを紹介しあい、朝日町、釜石市両市町の良さについて学び合った。その後、唐丹中学校で継続的に取り組んできた防災に関する取組を朝日町の中学生に発信した。最後に互いの発表に対して、質疑応答や感想発表を行いながら、学んだことを交流し友好を深めた。</p>		
成果・課題	<p>コロナ感染回避のため、オンラインでの交流となったが、互いの市町の取組について交流し合うことで、生徒の意識の向上が見られた。</p> <p>コロナ禍における交流方法について検討が必要である。</p>		
評 価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (現状維持・拡充)

事業名	中学生相互派遣事業 (青森市平和・防災学習事業)	令和 4 年度 決算額	505,500 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目 的	青森市の中学生との相互訪問及び交流を通して、平和や防災についての学習を深め、よりよい学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資するもの。		



内 容	<p>【参加者】釜石市各中学校代表 1 学年 10 名（各校 2 名） 青森市中学校代表 1 学年 10 名（各校 2 名）</p> <p>【事前交流】7 月 22 日（金）16：15～17：15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる交流（釜石市は第 7 会議室で参加）</li> <li>・内容…自己紹介、両市の紹介、質疑応答、感想発表</li> </ul> <p>【青森市訪問】7 月 27 日（水）～29 日（金）</p> <p>○7 月 27 日（水）青森市立三内中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣生徒顔合わせ</li> <li>・防災研修会</li> </ul> <p>小中一貫教育を行っている三内中学校学区で、小学生、中学生、地域の方と一緒に防災訓練に参加した。開会式では、東日本大震災時の避難行動や、各中学校の避難訓練の様子や防災に関する学習活動について発表した。</p> <p>防災訓練では、避難所運営訓練、アルファ化米や段ボールベット等の体験を行った。</p> <p>○7 月 28 日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和祈念式典参加（場所：アウガ多目的ホール）折鶴の献上</li> <li>・青森市長との懇談（今までの活動について）</li> <li>・青森市内の戦跡の見学（青森空襲資料常設展示室 他 9 か所）</li> </ul> <p>戦跡を巡りながら、青森市の中学生が事前に調べた説明や、歴史資料室の室長からの解説等を聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交流（平和や防災に関しての意見交流）</li> </ul> <p>○7 月 29 日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学（場所：三内丸山遺跡）青森市の歴史について学習</li> </ul> <p>【釜石市での交流】8 月 9 日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習（場所：いのちをつなぐ未来館）</li> </ul> <p>青森市の中学生と一緒に、施設スタッフから震災当時の状況、防災への取組等の話を聞き、改めて東日本大震災を後世に語り継ぐことの重要性について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石市戦没者追悼式への参加（場所：釜石市民ホール）献花</li> <li>・釜石市郷土資料館の見学</li> </ul> <p>二度の艦砲射撃を受け、釜石市内に今も残る戦跡の数々について学習。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争体験談の講話（講師：秋元厚子さん）</li> </ul> <p>小学校 5 年生に戦争を体験した秋元さんから、当時の様子や戦後の日本教育のこと、戦時下の生活等についてお話を聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交流（交流事業を通して感じたことの交流）</li> </ul> <p>【各校での共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は、体験したことや学んだことを各中学校の生徒に情報発信</li> </ul>
-----	--

<p>成果・課題</p>	<p>互いの市を訪問し、平和や防災に関する歴史や現状について学びを深めることで、生徒の意識の向上が図られた。また、代表生徒が学んだことを各学校で発表することで、学校全体の意識の向上にもつながった。</p> <p>内容が盛りだくさんになってしまったので、さらに精選を図り、生徒が主体的に考えたり、発表したりする時間を確保していく。</p>		
<p>評価</p>	<p><b>B</b></p>	<p>事業の継続性</p>	<p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 改善して継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）</p>

## 基本施策2 子どもを育む環境づくり

### 実施施策

### (1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

事業名	教育広報発行事業	令和4年度 決算額	221,760 円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	教育行政について「教育広報」により広く市民に周知するもの。		
内容	<p>「教育広報かまいし」(A4版・4ページ・4色カラー刷)を年2回(10・3月)発行し全世帯に配付した。</p> <p>【主な掲載記事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生交流活動</li> <li>・かまいしコミュニティ・スクールの推進～「学校」と「地域」がともに元気に！～</li> <li>・かまいし絆会議～未来への第1歩～</li> <li>・総合的な学習の時間</li> <li>・「鉄」から学ぶ釜石独自の郷土学習</li> <li>・学校給食における地産地消の取組「まるごと釜石給食」</li> <li>・学校規模適正化検討委員会の開催結果</li> <li>・教育委員の就任</li> <li>・教育行政方針演述</li> <li>・釜石市教育研究所研究発表大会</li> <li>・「献立募集入賞作品決定」入賞作品決定</li> </ul>		
成果・課題	<p>新たに教育委員会の新規施策や事業について掲載するなど、積極的な情報発信を行うことで、教育行政の取組を広く市民に周知することができた。</p> <p>市民が、教育行政に対し関心を抱き理解を深めるような紙面とするため、引き続き親しみやすい文章や記事掲載を心掛け、読者の関心に沿った教育広報を発行していく必要がある。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続(現状維持・拡充)

事業名	かまいし絆会議運営事業	令和4年度 決算額	495,969 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内の小中学生一人ひとりが将来の釜石市をつくるリーダーになれる力を身に付けるもの。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かまいし絆会議の開催（8/4、12/27） 釜石市民ホール TETTO ホール B を会場に、各小中学校児童生徒 28 名（各校 2 名）、各小中学校引率教員 14 名（各校 1 名）が参加し、「絆の日」の取組やポスター制作、地域のための活動などについて話し合った。8/4 については、かまいし未来づくりプロジェクト 25 名（オンライン参加 1 名含む）、岩手県立釜石高校 SSH 地域ゼミメンバー6 名も参加し、釜石市の課題について話し合った。</li> <li>・中学校専門部会の開催（7/11、12/6） 7/11 については、各中学校 3 年生代表 2 名ならびに担当教員 1 名が参加し、かまいし絆会議の本会議に向けて、「絆の日」の取組についてのアイデアなどを話し合った。12/6 については、各中学校 2 年生代表 2 名ならびに担当教員 1 名が参加し、新体制の確認、かまいし絆会議の本会議に向けて話し合う内容を検討した。</li> <li>・かまいし絆会議ポスターの制作</li> <li>・かまいし絆会議通信の発行（学校教育課、各学校）</li> </ul>		
成果・課題	釜石市小中学生による「かまいし絆会議」が、自分たちの生活や地域のことに課題意識を持ち、児童会や生徒会を中心に自分たちにできることを考える場として機能した。特に地域活動に重点を置き、市内小中学生全員で活動を行うことで、地域貢献への意識が高まった。今後も、「かまいし絆会議」を児童生徒のリーダー育成の場並びに主体的な活動につなげる場として活用していく。		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	「総合的な学習の時間」推進事業	令和4年度 決算額	1,055,739円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	「総合的な学習の時間」を、学校及び地域の特色を生かした創意ある学習の時間を旨として実施し、教育の充実を図るもの。		
内容	各校の特色を生かした「総合的な学習の時間」の取組に係る経費を負担した（報償費・需用費・役務費・使用料及び賃借料）。		
	【実施校】小学校9校、中学校5校		
	【主な活動内容】		
	学校名	活動内容	
	釜石小学校	農業体験学習・郷土料理学習	
	双葉小学校	郷土の歴史・釜石の自然について	
	白山小学校	田植え・稲刈り	
	平田小学校	防災学習	
	小佐野小学校	しし踊り・国際理解学習	
	甲子小学校	情報学習・さつまいも栽培	
	鶴住居小学校	防災学習・ボランティア活動	
	栗林小学校	植樹活動・そば作り	
	唐丹小学校	鮭の稚魚放流・鉄の学習	
	釜石中学校	防災学習・進路学習	
	甲子中学校	鉄の学習・進路学習	
釜石東中学校	防災学習・鉄の学習		
唐丹中学校	キャリア教育・防災学習		
大平中学校	福祉学習・防災学習		
成果・課題	各学校が特色を生かした創意ある学習を実施することにより、児童生徒が自ら課題を見つけ必要な知識や技能の習得、資質や能力の育成につながっている。		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	かまいしコミュニティスクール推進事業	令和3年度 決算額	2,100,000 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内小中学校において地域に元気を与えるような活動、当市の風土、伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め郷土への誇りと愛着を育む、地域と協働により取り組む活動に要する経費に対し、交付金を交付するもの。		
内容	市内小中学校 14 校に対し、各校 15 万円交付した。 【事業内容】		
	学校名	活動内容	
	釜石小学校	伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動	
	双葉小学校	双葉小学校手づくりカレンダーの作成及び地域への配布	
	白山小学校	花壇整備活動、白山水田学習、高齢者訪問（花のプレゼント）	
	平田小学校	学習発表会、プログラミング学習	
	小佐野小学校	校報の発行及び地域への配布、伝承活動「小川しし踊り」の実施	
	甲子小学校	交通安全少年団活動、少年少女防災クラブ活動、お年寄り訪問活動、郷土の偉人や産業についての学習（施設見学）	
	鵜住居小学校	防災だよりの発行、伝統芸能「鵜住居虎舞」の継承活動、学級園活動、鉄の学習、ものづくり体験	
	栗林小学校	伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、そば作り活動、鉄の学習	
	唐丹小学校	郷土学習（「鮭の稚魚放流」「鮭の郷土料理教室」「水生環境調査」）、花壇づくり、小中合同国道清掃、環境美化活動	
	釜石中学校	地域の実情に合わせた防災教育、安全啓発活動（「地域の安全マップ」の改訂及び配布）	
	甲子中学校	特設ラグビー部の活動（講習会及び練習会等）、鉄の学習、合唱活動の充実	
	釜石東中学校	鉄づくり体験、漁業体験、防災学習、避難誘導看板製作	
	唐丹中学校	郷土学習（「大石虎舞」）、小中合同運動会、環境美化活動、地域産業学習（「海と希望の学校」及び水産加工場見学）	
大平中学校	福祉学習（大平公園清掃、認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験、介護実技学習、価値観学習、高齢者との交流活動（ビデオによる交流）） 防災学習（救命救急講習、避難所設置実習、防災ワークショップ、炊き出し訓練）		

成果・課題	各学校が「かまいしコミュニティスクール推進事業」を活用し、地域に元気を与えるような活動や郷土理解を深める学習を地域と協働で行うことができた。		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	鉄の学習推進事業	令和4年度 決算額	443,660 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	釜石市内の児童生徒が、近代製鉄発祥の地である釜石の鉄づくりの歴史について、知識を深めるために、世界遺産である橋野鉄鉱山見学の経費を負担するもの。		
内容	橋野鉄鉱山見学を希望する市内小中学校のバス借上げ料の負担。		
成果・課題	橋野鉄鉱山見学を希望した市立小中学校8校のバス借上げ料を負担した。令和5年度はバス借上げ料の経費負担は行わず、スクールバスで対応する。		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校給食センター運営費	令和4年度 決算額	250,835,338 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター		

<p>目 的</p>	<p>安全安心な食材の確保、衛生管理に十分な注意をはらい、栄養バランスの良い安全でおいしい学校給食を提供する。</p> <p>児童生徒一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるよう食育を推進する。</p>																		
<p>内 容</p>	<p>○地場産物の利用 水産農林課、産直と情報共有を図り地場産物の確保し利用につなげた。 〈地場産食材使用状況〉</p> <table border="1" data-bbox="422 616 1380 761"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>使用数量</td> <td>1,886 kg</td> <td>2,388 kg</td> <td>1,919 kg</td> <td>3,096 kg</td> <td>2,891 kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>○アレルギー対応給食 乳・卵アレルギーを有する児童生徒に対し、除去食・代替食の提供を行った。</p> <p>○献立募集 小中学生を対象に「ぼくのわたしのおすすめ汁もの」をテーマに献立を募集した。入賞者には賞状及び記念品を贈呈した。 応募数：小学校 90 作品（最優秀賞 1、優秀賞 3） 中学校 224 作品（最優秀賞 1、優秀賞 3）</p> <p>○リクエスト給食 小 6、中 3 のアンケートで 1 位となった献立を中心に、1 月、2 月にリクエスト給食を提供した。</p> <p>○学校給食残量調査 1～2 学期間において副菜に加えて今年度からご飯の残量調査を実施した。</p> <p>○防災給食 防災教育の一環として非常食（救給カレー）を取り入れた給食を提供した。</p> <p>○姉妹都市・友好都市交流献立 愛知県東海市及び富山県朝日町にちなんだ給食を提供した。</p> <p>○まるごと釜石給食 釜石産の新米、野菜と釜石はまゆりサクラマスを使用した給食を提供し試食会を行った。</p> <p>○施設見学及び給食試食会 学校給食センターの施設見学及び給食試食会に合わせて、栄養教諭が食に関する指導を行った。 ・施設見学 6 回 117 人 ・給食試食会 3 回 48 人</p>		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	品目数	9	10	11	10	11	使用数量	1,886 kg	2,388 kg	1,919 kg	3,096 kg	2,891 kg
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度														
品目数	9	10	11	10	11														
使用数量	1,886 kg	2,388 kg	1,919 kg	3,096 kg	2,891 kg														



成果・課題	<p>地元企業のご厚意により釜石はまゆりサクラマスを使用することができ、まるごと釜石給食として地元産米、野菜とともに提供した。今後も継続して使用するために地産地消の推進を図るとともに予算確保に努める。また、地元産食材の安定した量の確保と新たな品目の活用を検討する。</p> <p>献立募集は、通知を早めたことにより応募数が増加した。今後も学校と連携しながら応募数の増加を図る。</p> <p>残量調査の結果から、児童生徒の嗜好を考慮しながら調理方法や味付け等をさらに検討する。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	特別支援学校給食提供事業	令和4年度 決算額	837,100円
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター		
目的	令和5年度から予定する岩手県立釜石祥雲支援学校への給食提供開始に伴う各種工事及び給食システムの改修を行い給食提供の態勢を整えるもの。		
内容	<p>岩手県立釜石祥雲支援学校への給食提供に向け、IH調理器での調理が必要となることから、調理器周辺の改修工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IH調理器使用に伴う電気工事 638,000円</li> <li>・ IH調理器使用に伴う照明器具増設工事 81,400円</li> <li>・ IH調理器設置に伴う排水管延長修繕 62,700円</li> <li>・ 給食システム改修費 55,000円</li> </ul>		
成果・課題	各種工事及びシステム改修を行い、令和5年度からの岩手県立祥雲支援学校への給食提供に向けた態勢を整えた。		
評価	<b>A</b>	事業の継続性	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

**基本施策2**  
実施施策

**子どもを育む環境づくり**

(2) 教育環境の充実とさらなる向上

事業名	岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会運営補助金	令和4年度 決算額	50,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	岩手県立釜石高等学校定時制教育の振興を図るもの。		
内容	<p>岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会が行う教育振興事業に要する経費に対して、補助金を交付した。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験学習6回、蕎麦打ち体験学習1回、野外体験学習1回</li> <li>・校内生活体験発表会</li> <li>・特別授業（郷土料理講習会）の開催 等</li> </ul>		
成果・課題	<p>各種体験活動や校内生活体験発表会などへの教育活動の支援を行い、生徒の福祉向上に寄与したほか、活動を通じて生徒自身の成長を促し、学生生活の充実が図られた。</p> <p>今後とも、補助金制度の趣旨に沿って、同教育振興会の事業内容、決算状況を精査し、補助金額や補助の方法等を検討する。併せて、補助金交付規則等に則った適切な事務執行を行う。</p>		
評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	奨学資金貸付金	令和4年度 決算額	6,528,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	優秀な学生であって、経済的事由により修学の困難な人に対して、学費の貸与を行うことにより修学の機会を与え、有用な人材の育成を図るもの。		

<p>内 容</p>	<p>奨学生に対し学費の貸与を行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済状況が変化した家庭もあるため、奨学生の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予を行った。</p> <p><b>【貸与月額】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校 16,000 円以内</li> <li>・大学等 45,000 円以内</li> </ul> <p>（短期大学、専門学校及び大学院も含む）</p> <p><b>【奨学金の貸付者数】</b></p> <table border="1" data-bbox="450 584 1272 685"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金の貸付者数</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【奨学金の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予者数】</b></p> <table border="1" data-bbox="450 779 1272 929"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>追加募集者数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>返還猶予者数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※返還猶予数のうち、括弧内の数は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収入減によるもの。</p>			年 度	H30	R1	R2	R3	R4	奨学金の貸付者数	14	20	20	14	13	年 度	H30	R1	R2	R3	R4	追加募集者数	0	0	0	0	0	返還猶予者数	2	0	1(1)	1(1)	1(1)
年 度	H30	R1	R2	R3	R4																												
奨学金の貸付者数	14	20	20	14	13																												
年 度	H30	R1	R2	R3	R4																												
追加募集者数	0	0	0	0	0																												
返還猶予者数	2	0	1(1)	1(1)	1(1)																												
<p>成果・課題</p>	<p>制度の活用により学生の経済的負担が軽減されており、学生が安心して学業に専念できる環境を整えることで、将来における社会での有用な人材育成につながっている。</p> <p>今後も関係機関と連携し制度の周知に努め、支援を必要としている学生の就学の機会を確保するとともに、育英会事業の更なる健全運営に努める。</p>																																
<p>評 価</p>	<p><b>A</b></p>	<p>事業の継続性</p>	<p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 改善して継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）</p>																														

<p>事業名</p>	<p>学校空調整備事業</p>	<p>令和4年度 決算額</p>	<p>6,105,000 円</p>
<p>担当課</p>	<p>教育委員会事務局総務課</p>		
<p>目 的</p>	<p>児童生徒の熱中症対策及び学習環境改善のため、市内中学校の特別教室にエアコンを設置するもの。</p>		

内 容	釜石中学校の多目的教室及び特別支援教室にエアコンを設置した。 <b>【設置台数】</b> ・多目的教室：1台 ・特別支援教室：1台		
成果・課題	エアコンの設置により夏季における熱中症対策が図られた。 学習環境の改善により、児童生徒の学習意欲の向上が見込まれることから、今後予定している特別教室への設置についても、維持管理費及び利用頻度等を勘案した上で取り組んでいく。		
評 価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校施設トイレ洋式化事業（小中学校費）	令和4年度 決算額	8,993,551円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目 的	児童生徒の快適な教育環境の向上を図るため、屋内運動場等の既存の和式トイレを洋式トイレに改修するもの。		
内 容	双葉小学校、小佐野小学校及び大平中学校のトイレ洋式化改修を行った。 <b>【工事場所】</b> ・双葉小学校：屋内運動場トイレ ・小佐野小学校：屋内運動場トイレ及び保健室トイレ ・大平中学校：屋内運動場トイレ <b>【工事内容】</b> ・便器取り替え ・内装改修 ・照明・コンセント設備改修		
成果・課題	洋式化改修により、学校トイレの衛生環境の改善が図られた。また、水まわりや照明を改善することで節水効果や省エネ化など年間経費の削減も見込まれる。 今後も洋式化率の低い学校について、優先的にトイレ改修を実施する。		

評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
----	---	--------	--

事業名	学校環境整備事業	令和4年度 決算額	12,551,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	教育環境の改善のため、双葉小学校の老朽化した灯油式エアコンを電気式エアコンに改修するもの。		
内容	双葉小学校の空調設備改修工事を実施した。 <b>【設置台数】</b> ・校長室：2台 ・職員室：4台 ・保健室：1台 ・図書室：2台		
成果・課題	エアコンの設置により夏季における熱中症対策が図られた。 今後もエアコン設置を含む施設整備を計画的に進め、より快適な教育環境づくりに取り組んでいく。		
評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教育用コンピュータ管理経費（小中学校費）	令和4年度 決算額	18,777,000円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内小中学校及び教育委員会事務局にて使用しているPC等の適切な維持管理を行うもの。		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ機器等の保守管理業務委託</li> <li>【内訳】</li> <li>校務用サーバ 13 台</li> <li>校務用ノートパソコン 297 台</li> <li>教育用コンピュータ（パソコン教室）424 台</li> <li>大型提示装置 118 台</li> <li>教員用タブレット端末 194 台</li> <li>児童用タブレット端末 1,948 台</li> <li>その他、周辺機器、統合型校務支援システム等保守</li> <li>・市内小中学校の職員室プリンターの使用料</li> <li>・インターネット使用料</li> </ul>		
成果・課題	<p>業務委託先の業者と連携の上、市内小中学校の ICT 機器等のトラブルに迅速に対応した。</p> <p>GIGA スクール構想により児童生徒に一人一台のタブレット端末が整備されたことに伴い、パソコン教室の使用頻度が減少していることから、パソコン教室を廃止し経費の効率化を図るほか、パソコン教室を他の目的に転用できるように必要な環境整備を行う必要がある。</p>		
評 価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教育研究所運営費	令和 4 年度 決算額	619,288 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目 的	<p>幼稚園・保育所・こども園・小中学校の教育実践に資する活動を計画し運営するもの。</p> <p>教育課題やこれからの学校教育に求められる内容等について、研究・研修・相談活動を行うことにより、学校教育における教育成果の向上に寄与するもの。</p>		

<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究所各研究班による課題研究 「こころの教育研究班」 多様性をもつ一人一人を大切に、将来につながる「強く生き抜く力」を確実に身に付けさせるために必要となる個への配慮や支援について、特別支援教育の視点からも考え、深めた。</li> <li>「授業づくり研究班」 児童生徒の興味関心を引き付ける導入を通して、解決することが必要な課題の設定を工夫し、実践を積み重ね、ねらいの達成を意識した粘り強く課題を解決しようとする資質・能力を育成することについて深めた。</li> <li>「幼保小連携推進委員会」 各園における園内研修を通して、子どもの発達や学びの連続性をとらえながら、幼児期の学びから小学校の学習とどのようにつながるかを深めた。</li> <li>・教育研究所研究発表大会（1月5日）</li> <li>・心身の不安や悩み、登校への不安等を抱える児童生徒の援助及び指導のため、教育支援教室（若葉教室）を運営した。</li> <li>・児童生徒の保護者からの悩みや相談を受け、適切な支援を行った。</li> </ul>		
<p>成果・課題</p>	<p>研究班・推進委員会において、研究計画に基づき研究・研修を行い、研究発表大会を通じて研究の成果及び課題等を全教職員で共有した。</p> <p>昨年度と比較すると教育支援教室に通室する児童生徒が若干増えてきているが、不登校等の児童生徒数と比較すると通室している人数が少ないことから、教室を活用しての教育支援もできることを促していく必要がある。</p>		
<p>評 価</p>	<p><b>B</b></p>	<p>事業の継続性</p>	<p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 改善して継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）</p>

<p>事業名</p>	<p>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業</p>	<p>令和4年度 決算額</p>	<p>290,000 円</p>
<p>担当課</p>	<p>教育委員会事務局学校教育課</p>		
<p>目 的</p>	<p>児童生徒の安心・安全な登下校ならびに児童生徒一人一人の交通安全に対する意識の向上につなげるもの。</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガードリーダーの委嘱 市内全体の安全確保等を強化するため、スクールガードリーダー（1名）を委嘱し、市内の巡回指導及び見守り活動により、情報共有、評価を行い、安心・安全の確保に努めた。</li> <li>・登下校時の見守り 毎日のように登校・下校の時間帯に各校の児童生徒の見守りと安全指導を行った。登下校に関して学校に情報提供し、学校との連携を図った。</li> <li>・市内巡回パトロール 下校時間に合わせて各小学校周辺をパトロールした。低学年の下校時刻から巡回を始め、高学年の下校時刻まで実施した。</li> <li>・スクールガードとの情報共有、スクールガードへの指導助言 各校のスクールガードと登下校の様子について情報交換した。歩道の歩き方や横断歩道の渡り方など、児童生徒の実態をもとに各スクールガードに助言も行った。</li> </ul>		
成果・課題	<p>年間を通じて児童生徒が安全に登下校することができるように見守りを継続し、児童生徒の交通安全に対する意識の向上も見られた。今後も、安全な登下校となるように見守りや指導を続けていく。</p>		
評 価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	特別支援教育支援員配置事業	令和4年度 決算額	38,248,095 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目 的	<p>様々な障がいのある児童生徒への学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う支援員を配置し、当該児童生徒の学校生活の充実を図るもの。</p>		
内 容	<p>各学校に特別支援教育支援員を配置し、支援を必要としている児童生徒に対し適切な支援を行った。</p> <p><b>【配置校】</b>  釜石小、双葉小、白山小、平田小、小佐野小、甲子小、鶴住居小、唐丹小、釜石中、甲子中、大平中</p> <p><b>【配置人数】</b> 19名</p>		



成果・課題	<p>障がいのある児童生徒に対し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行うことができた。</p> <p>障がいのある児童生徒は増加傾向にあり、現在の支援員の人数では全ての学校をサポートできないため、人員の確保が課題となっている。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	こころのケア事業	令和4年度 決算額	3,588,224 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応するもの。</p>		
内容	<p>スクールカウンセラー（臨床心理士）が各学校を巡回（県派遣2人）し、カウンセリングを実施した。</p> <p>小学校:児童476回、保護者58回  中学校:生徒494回、保護者26回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒、保護者、教職員との定期的な面談の実施。</li> <li>・スクールカウンセラーによる校内研修会での講義、サポート授業でのチームティーチングの実施。</li> <li>・気になる児童生徒への対応について、保護者や教職員への日常における支援についてのアドバイス。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーや関係機関へつなげるきっかけ作り。</li> </ul>		
成果・課題	<p>スクールカウンセラーの面談を通して、児童生徒や保護者、教職員に対して心のケアにあたりたり、サポートしたりできた。定期的な面談の他に緊急を要する面談にも対応した。</p> <p>面談を希望する児童生徒・保護者が多く、日程や時間の調整に苦慮する場面もある。今後も面談希望者数が増加することが予想される。スクールカウンセラーが増員されることでより適切な対応が可能と考えられる。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	スクールバス運行事業	令和4年度 決算額	39,815,456 円			
担当課	教育委員会事務局学校教育課					
目的	遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保するためスクールバス及びタクシーを運行するもの。					
内 容	【スクールバス利用児童生徒数】					
	<小学校> 129人					
	学校名	児童数	学校名	児童数	学校名	児童数
	釜石小	1人	平田小	6人	鵜住居小	42人
	双葉小	0人	小佐野小	1人	栗林小	8人
	白山小	0人	甲子小	51人	唐丹小	20人
	<中学校> 57人					
	学校名	生徒数	学校名	生徒数	学校名	生徒数
	釜石中	1人	釜石東中	33人	大平中	4人
	甲子中	14人	唐丹中	5人	—	—
【運行状況】						
配備場所	配備台数	車種	対象学校等			
平田小	1台	マイクロバス	平田小、大平中			
鵜住居小	1台	中型バス	鵜住居小、釜石東中			
	1台	マイクロバス	鵜住居小、釜石東中			
栗林小	1台	マイクロバス	栗林小			
唐丹小	1台	マイクロバス	唐丹小、唐丹中			
	1台	ワゴン車	唐丹小、唐丹中			
甲子中	1台	中型バス	甲子小、甲子中			
釜石中	1台	マイクロバス	甲子小、甲子中、釜石小、釜石中			
釜石東中	1台	中型バス	鵜住居小、釜石東中			
	1台	マイクロバス	鵜住居小、釜石東中			
学校教育課	1台	中型バス	車検等の代替バス			
合計	11台					
【スクールタクシー利用児童生徒数等】						
小学校： 2名						

	(釜石小学校 1 名:新浜町地区、小佐野小学校 1 名:上小川地区) 中学校： 2 名 (釜石中学校 1 名:新浜町地区、釜石東中学校 1 名:外山地区)		
成果・課題	遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保することにより、登校時の安全確保や保護者の負担軽減を図ることができた。		
評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校図書館図書購入費	令和 4 年度 決算額	小：1,997,969 円 中：1,608,221 円																																																			
担当課	教育委員会事務局学校教育課																																																					
目的	児童生徒の読書環境の推進に向けて、小中学校の図書整備を計画的に進め、教育環境の充実を図るもの。																																																					
内容	<p>国が示す学校図書標準に基づき各小中学校の図書館図書を購入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>購入冊数</th> <th>図書館図書購入費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>釜石小学校</td><td>107 冊</td><td>216,000 円</td></tr> <tr><td>双葉小学校</td><td>50 冊</td><td>189,000 円</td></tr> <tr><td>白山小学校</td><td>60 冊</td><td>108,000 円</td></tr> <tr><td>平田小学校</td><td>125 冊</td><td>188,969 円</td></tr> <tr><td>小佐野小学校</td><td>234 冊</td><td>405,000 円</td></tr> <tr><td>甲子小学校</td><td>270 冊</td><td>378,000 円</td></tr> <tr><td>鶴住居小学校</td><td>114 冊</td><td>216,000 円</td></tr> <tr><td>栗林小学校</td><td>47 冊</td><td>135,000 円</td></tr> <tr><td>唐丹小学校</td><td>58 冊</td><td>162,000 円</td></tr> <tr><td>小学校 計</td><td>1,065 冊</td><td>1,997,969 円</td></tr> <tr><td>釜石中学校</td><td>388 冊</td><td>584,744 円</td></tr> <tr><td>甲子中学校</td><td>51 冊</td><td>405,000 円</td></tr> <tr><td>釜石東中学校</td><td>124 冊</td><td>264,945 円</td></tr> <tr><td>唐丹中学校</td><td>42 冊</td><td>135,000 円</td></tr> <tr><td>大平中学校</td><td>99 冊</td><td>218,532 円</td></tr> <tr><td>中学校 計</td><td>704 冊</td><td>1,608,221 円</td></tr> </tbody> </table>			学校名	購入冊数	図書館図書購入費	釜石小学校	107 冊	216,000 円	双葉小学校	50 冊	189,000 円	白山小学校	60 冊	108,000 円	平田小学校	125 冊	188,969 円	小佐野小学校	234 冊	405,000 円	甲子小学校	270 冊	378,000 円	鶴住居小学校	114 冊	216,000 円	栗林小学校	47 冊	135,000 円	唐丹小学校	58 冊	162,000 円	小学校 計	1,065 冊	1,997,969 円	釜石中学校	388 冊	584,744 円	甲子中学校	51 冊	405,000 円	釜石東中学校	124 冊	264,945 円	唐丹中学校	42 冊	135,000 円	大平中学校	99 冊	218,532 円	中学校 計	704 冊	1,608,221 円
学校名	購入冊数	図書館図書購入費																																																				
釜石小学校	107 冊	216,000 円																																																				
双葉小学校	50 冊	189,000 円																																																				
白山小学校	60 冊	108,000 円																																																				
平田小学校	125 冊	188,969 円																																																				
小佐野小学校	234 冊	405,000 円																																																				
甲子小学校	270 冊	378,000 円																																																				
鶴住居小学校	114 冊	216,000 円																																																				
栗林小学校	47 冊	135,000 円																																																				
唐丹小学校	58 冊	162,000 円																																																				
小学校 計	1,065 冊	1,997,969 円																																																				
釜石中学校	388 冊	584,744 円																																																				
甲子中学校	51 冊	405,000 円																																																				
釜石東中学校	124 冊	264,945 円																																																				
唐丹中学校	42 冊	135,000 円																																																				
大平中学校	99 冊	218,532 円																																																				
中学校 計	704 冊	1,608,221 円																																																				

成果・課題	読書に親しむ教育環境の充実により、児童生徒や教職員の情報ニーズへの対応、学習支援や情報の収集・選択・活用能力を育むことが図られた。		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教材備品等管理費	令和4年度 決算額	小：2,986,683円 中：3,765,582円																														
担当課	教育委員会事務局学校教育課																																
目的	教材備品の整備を計画的に進め、教育環境の充実を図る。																																
内容	<p>市内小中学校に購入希望調査を実施し、各学校で必要としている教材備品を購入・整備した。また大型備品として、釜石中学校に楽器（トロンボーン、フルート）を整備した。</p> <p>【各学校に整備した教材備品（抜粋）】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">学校名</th> <th>品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石小学校</td> <td>衝立式らくがきボード、踏切板、走高跳スタンド</td> </tr> <tr> <td>双葉小学校</td> <td>スポンジマット、カラー跳び箱、平均台</td> </tr> <tr> <td>白山小学校</td> <td>eライン引き、踏切板、ソフトドリルハードル</td> </tr> <tr> <td>平田小学校</td> <td>スターティングブロック、透明立体模型</td> </tr> <tr> <td>小佐野小学校</td> <td>トーンチャイム、とび箱</td> </tr> <tr> <td>甲子小学校</td> <td>セストボールゴール、カード式英語教材、CDラジオ</td> </tr> <tr> <td>鶴住居小学校</td> <td>ハードル、鉄棒用下敷きマット、タグラグビーセット</td> </tr> <tr> <td>栗林小学校</td> <td>タイムタイマー、分数数直線カラーボード</td> </tr> <tr> <td>唐丹小学校</td> <td>電子ピアノ、スピーカー内蔵ワイヤレスマイク</td> </tr> <tr> <td>釜石中学校</td> <td>ミニコンポ、角型蒸器、卓球台、バレーネット</td> </tr> <tr> <td>甲子中学校</td> <td>学校用自在短箏（四尺箏）セット、電子ミシン、卓球台</td> </tr> <tr> <td>釜石東中学校</td> <td>双眼実体顕微鏡、中学生の音楽鑑賞DVDセット</td> </tr> <tr> <td>唐丹中学校</td> <td>実験用冷蔵庫、柔道畳、スピーカー内蔵ワイヤレスマイク</td> </tr> <tr> <td>大平中学校</td> <td>箏 壺号 B（生田流）、製氷機</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	品名	釜石小学校	衝立式らくがきボード、踏切板、走高跳スタンド	双葉小学校	スポンジマット、カラー跳び箱、平均台	白山小学校	eライン引き、踏切板、ソフトドリルハードル	平田小学校	スターティングブロック、透明立体模型	小佐野小学校	トーンチャイム、とび箱	甲子小学校	セストボールゴール、カード式英語教材、CDラジオ	鶴住居小学校	ハードル、鉄棒用下敷きマット、タグラグビーセット	栗林小学校	タイムタイマー、分数数直線カラーボード	唐丹小学校	電子ピアノ、スピーカー内蔵ワイヤレスマイク	釜石中学校	ミニコンポ、角型蒸器、卓球台、バレーネット	甲子中学校	学校用自在短箏（四尺箏）セット、電子ミシン、卓球台	釜石東中学校	双眼実体顕微鏡、中学生の音楽鑑賞DVDセット	唐丹中学校	実験用冷蔵庫、柔道畳、スピーカー内蔵ワイヤレスマイク	大平中学校	箏 壺号 B（生田流）、製氷機
	学校名	品名																															
	釜石小学校	衝立式らくがきボード、踏切板、走高跳スタンド																															
	双葉小学校	スポンジマット、カラー跳び箱、平均台																															
	白山小学校	eライン引き、踏切板、ソフトドリルハードル																															
	平田小学校	スターティングブロック、透明立体模型																															
	小佐野小学校	トーンチャイム、とび箱																															
	甲子小学校	セストボールゴール、カード式英語教材、CDラジオ																															
	鶴住居小学校	ハードル、鉄棒用下敷きマット、タグラグビーセット																															
	栗林小学校	タイムタイマー、分数数直線カラーボード																															
	唐丹小学校	電子ピアノ、スピーカー内蔵ワイヤレスマイク																															
	釜石中学校	ミニコンポ、角型蒸器、卓球台、バレーネット																															
	甲子中学校	学校用自在短箏（四尺箏）セット、電子ミシン、卓球台																															
	釜石東中学校	双眼実体顕微鏡、中学生の音楽鑑賞DVDセット																															
	唐丹中学校	実験用冷蔵庫、柔道畳、スピーカー内蔵ワイヤレスマイク																															
	大平中学校	箏 壺号 B（生田流）、製氷機																															

	学校名	教材備品購入費	その他（修繕、手数料）
		釜石小学校	500,000 円
	双葉小学校	340,000 円	
	白山小学校	250,000 円	
	平田小学校	335,702 円	
	小佐野小学校	333,103 円	
	甲子小学校	229,960 円	
	鵜住居小学校	260,000 円	
	栗林小学校	142,607 円	
	唐丹小学校	107,021 円	
	小学校 計	2,498,393 円	488,290 円
	釜石中学校	1,065,626 円	中学校 修繕料 203,786 円 ピアノ調律手数料 261,800 円
	甲子中学校	493,302 円	
	釜石東中学校	536,566 円	
	唐丹中学校	281,492 円	
	大平中学校	923,010 円	
	中学校 計	3,299,996 円	
成果・課題	<p>概ね購入希望調査に沿った教材備品を購入することができ、適切な教育環境の充実が図られた。</p> <p>その反面、希望している教材備品が予算額を超えてしまう学校もあり、予算を増額することが望ましいが、最低でも現状維持の予算は確保していく必要がある。</p> <p>また、大型備品（特にピアノ、吹奏楽部の楽器類）の整備にあたっては、別枠で予算を確保して計画的に整備していく必要がある。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	理科教育等設備備品購入費	令和4年度 決算額	小：2,359,571円 中：1,663,232円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	理科備品の整備を計画的に進め、理科教育環境の充実を図る。		
内容	市内小中学校に購入希望調査を実施し、各学校で必要としている理科備品を購入・整備した。 【各学校に整備した理科備品（抜粋）】		
	学校名	品名	
	釜石小学校	流水実験器、タイムラプスカメラ、小型生物顕微鏡	
	双葉小学校	デジタル生物顕微鏡、解剖顕微鏡、気体採取器	
	白山小学校	生物顕微鏡、双眼実体顕微鏡、振り子実験器	
	平田小学校	電気の利用実験器、電気の利用・蓄電実験セット	
	小佐野小学校	プログラミングスイッチ、ビーカー保温器比較セット	
	甲子小学校	解剖顕微鏡、デジタル生物顕微鏡	
	鶴住居小学校	生物顕微鏡、実験用てこ、小型たい積実験器	
	栗林小学校	実験用冷蔵庫、小学校用おんさ、簡易デジタル酸素センサ	
	唐丹小学校	音の学習実験器、水のしみ込み方実験器	
	釜石中学校	モニタ付顕微鏡、生物顕微鏡、	
	甲子中学校	ダニエル電池実験器、電子てんびん、地震説明器	
	釜石東中学校	大型レンズ（光源装置付）、月・金星の満ち欠け実験器	
	唐丹中学校	水の電気分解装置、地震発生説明器	
	大平中学校	スピードガン、直流電圧計	
学校名	理科備品購入費		
釜石小学校	428,296円		
双葉小学校	460,002円		
白山小学校	188,867円		
平田小学校	497,839円		
小佐野小学校	290,793円		
甲子小学校	145,068円		
鶴住居小学校	118,081円		
栗林小学校	119,528円		
唐丹小学校	111,097円		
小学校計	2,359,571円		

	釜石中学校	559,775 円	
	甲子中学校	375,457 円	
	釜石東中学校	435,866 円	
	唐丹中学校	153,450 円	
	大平中学校	138,684 円	
	中学校 計	1,663,232 円	
成果・課題	<p>概ね購入希望調査に沿った理科備品を購入することができ、適切な理科教育環境の充実が図られた。</p> <p>その反面、希望している理科備品が予算額を超えてしまう学校もあり、最低でも現状維持の予算は確保して計画的に整備していく必要がある。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

**基本施策 3**  
実施施策

**生涯学習・スポーツの振興**

(1) 学びと実践が循環しつながりを出する生涯学習社会の形成

事業名	釜石市はたちのつどい開催事業	令和4年度 決算額	660,264 円
担当課	まちづくり課		
目的	成人の日を記念し、若者の門出を祝うとともに、市民及び市に縁のある者としての自覚を促し、社会人としての権利と義務・責任を全うできるよう激励の意味を込めて式典を開催するもの。		
内容	<p>年度内に 20 歳となる人を主体とした実行委員会形式により、特色のあるつどいを実行委員が自ら創り上げ、門出を祝う式典を開催した。</p> <p>〔時期〕 令和5年1月8日（日）14時～16時</p> <p>〔場所〕 釜石市民ホール TETTO</p> <p>〔対象〕 平成14年4月2日から令和15年4月1日までに生まれた方</p> <p>〔参加者数〕 379人（対象者194人、一般来場者120人、主催者7人、来賓27人、従事者31人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典内で実行委員会制作のビデオメッセージ、中学校及び高校恩師からのビデオメッセージの上映、参加者有志による郷土芸能（神楽、虎舞）などを披露した</li> <li>・釜石商工会議所青年部の協力を得てフォトスポットを2カ所に設置した</li> <li>・釜石コンパスでの活動（対象者の高校時代の活動内容）を展示した</li> <li>・対象者への記念品として、お祝いメッセージカード入りのカードケースを贈呈した（デザイン・制作：NPO法人遠野まごころネット まごころ就労支援センター）</li> </ul>		
成果・課題	<p>令和4年4月から成年年齢が引き下げになったことに伴い、「はたちのつどい」として式典の名称を変更して開催した。式典の対象となる参加者を委員とした実行委員会を組織し、式典内容を検討しながら実施した。</p> <p>今後も引き続き円滑な式典運営を心掛けながら、毎年組織する実行委員会と共に式典内容等の検討を行っていく。</p>		
評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）



事業名	生涯学習によるまちづくり推進事業 ※管理事務費の一部を含む	令和4年度 決算額	378,442円
担当課	まちづくり課		管理事務費分 (別掲)24,000円
目的	市民と行政が共に釜石市の現状と課題、施策などを理解するとともに、主体的にまちづくりへの参画を促進するための意識の喚起、場を創出することが必要になることから、生涯学習に関する諸事業を実施するもの。		
内容	<p>① 第3次釜石市生涯学習推進計画の策定（※管理事務費） 第2次釜石市生涯学習推進計画の見直しを行い、生涯学習の推進によるまちづくりの指針となる計画を策定した。</p> <p>② こどもエコクラブ（※管理事務費） 自然の中でさまざまな体験を通じて、自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動をとることができる資質を育むことを目的に、小学生を対象に実施した。 〔登録会員数〕 小学生43人 〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7.1（金）／ホテル観察会／唐丹町山谷／小学生34人</li> <li>・8.5（土）／釜石湾内クルーズ体験会／釜石湾／小学生30人</li> <li>・9.3（土）／昆虫観察会／※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</li> <li>・11.5（土）／海の生物観察会／平田（岩手大学釜石キャンパス）／小学生30人</li> <li>・2.18（土）／冬の星空観察会／鉄の歴史館・駐車場／小学生26人</li> </ul> <p>③ 岩手大学生涯学習交流講座 岩手大学との相互友好協力協定に基づき、生涯学習の基礎について改めて確認するとともに、「ひとづくり」「つながりづくり」への活動のヒントを参加者の交流を通じて探ることを目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12.2（金）／鶴住居公民館／11人</li> </ul> <p>④ 立正大学デリバリーカレッジ 市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとなるよう「知的刺激と感動を得られる生涯学習」の機会を提供するため、オンラインで開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6.4（土）／日常のエラーを考える～うっかりミスや勘違いは何故起きるのか～／9人</li> <li>・6.11（土）／IT時代を生きる／7人</li> <li>・6.18（土）／マネーの心理学・投資の心理学／7人</li> </ul> <p>⑤ 生涯学習まちづくり出前講座 生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題とその解決について考えることを目的として実施した。</p>		

	<p>&lt;講座メニュー&gt;</p> <p>171 講座（市によるもの 77 講座、関係機関によるもの 23 団体 94 講座）</p> <p>&lt;実施回数及び受講者数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="475 331 1331 481"> <thead> <tr> <th>30 年度</th> <th>元年度</th> <th>2 年度</th> <th>3 年度</th> <th>4 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54 回</td> <td>55 回</td> <td>37 回</td> <td>44 回</td> <td>68 回</td> </tr> <tr> <td>1,118 人</td> <td>1,349 人</td> <td>629 人</td> <td>674 人</td> <td>1,115 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥ 生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行</p> <p>生涯学習に関する情報を周知するため「広報かまいし」内に「まなびい釜石」のページを設け、年 6 回発行した。</p>	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	54 回	55 回	37 回	44 回	68 回	1,118 人	1,349 人	629 人	674 人	1,115 人
30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度												
54 回	55 回	37 回	44 回	68 回												
1,118 人	1,349 人	629 人	674 人	1,115 人												
<p>成果・課題</p>	<p>① 第 3 次釜石市生涯学習推進計画の策定（※管理事務費）</p> <p>計画を策定することにより、今後の生涯学習の推進によるまちづくりの施策や目標を示すことができた。今後は目標に向かって様々な機関と連携しながら、生涯学習を推進することが望まれる。</p> <p>② こどもエコクラブ（※管理事務費）</p> <p>定員を超える参加申し込みがあり、毎回の出席率も 7 割程度と高くなっており、この事業に対する関心の高さが伺える。講座内容によっては、小学校低学年と高学年に分けて説明するなど、分かりやすい説明にするなどの配慮が必要である。今後も引き続き、環境に対して子どもたちが関心、興味を持てるような内容を継続して実施する。</p> <p>③ 岩手大学生涯学習交流講座</p> <p>岩手大学と連携し、関係職員や各種委員を主な対象として実施した。講義を聞くだけでなく、講師を交えた意見交換の場を設けることで、当市の社会教育・生涯学習の抱える課題の一端を共有することができ、職員のスキルアップの場にもなった。今後も岩手大学と連携しながら、生涯学習推進のための講座を実施していく。</p> <p>④ 立正大学デリバリーカレッジ</p> <p>初のオンライン形式で開催した。講座終了後に行ったアンケートでは、内容に満足しているとの回答が多かったが、もっと多くの方に参加いただけるよう工夫が必要である。内容については、引き続き市民が生涯学習に広く関心を持ち、自ら学び実践する機会場の場を設けていきたい。</p> <p>⑤ 生涯学習まちづくり出前講座</p> <p>令和 4 年度は申請数が大幅に増加した。特に小中学校から、農業体験や総合的な学習の時間を活用した申し込みが増加している。今後も事業周知及び利用促進のための広報活動を継続していく。</p> <p>⑥ 生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行</p> <p>「広報かまいし」内にページを確保することにより、全世帯への情報提供が可能となっており、継続して実施する。また、事業情報については、</p>															

	公民館だよりや市のホームページを中心に周知する。		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	釜石市教育振興運動協議会活動補助金	令和4年度 決算額	200,000円
担当課	まちづくり課		
目的	地域の教育力向上と、子どもたちの生涯にわたって学び続ける意欲・態度を育成し、併せて大人自らの生涯学習機会となる教育振興運動の推進のため、釜石市教育振興運動協議会が行う事業に要する経費に対して補助金を交付するもの。		
内容	<p>各実践区（中学校区）において、5者（子ども、保護者、学校、地域、行政）がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携して行う地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力向上を図るため、情報提供や情報交換、実践活動への補助等を行った。</p> <p>〔活動内容〕 協議会総会（書面表決）、各実践区による活動、教振だよりの発行など</p> <p>〔研修等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 5.18（水）／オンライン開催／釜石市から2人</li> <li>・地域とともにある学校づくり推進フォーラム 7.5（火）／大船渡市立三陸公民館／釜石市から22人</li> <li>・釜石市教育振興運動協議会集約集会（共催） 2.4（土）／釜石PIT／44人</li> </ul>		
成果・課題	<p>全ての各実践区において全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」に取り組んだ他、あいさつ運動や交通安全、復興教育など地域の実情に応じて多様な活動をすることができた。</p> <p>今後も子どもを中心とした地域ぐるみの教育活動が継続的に実践できるよう、教育振興運動と地域学校協働活動の連携の在り方について模索していく必要がある。</p>		

評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
----	---	--------	--

事業名	放課後子ども教室推進事業	令和4年度 決算額	2,559,122 円
担当課	まちづくり課		
目的	子どもたちが安心して遊び学ぶことのできる教育環境を確保するため、放課後における子どもの活動拠点を設け、地域住民等の参画を得て、自由遊びの見守りのほか、多様な学習機会を提供するもの。		
内容	<p>〔時期〕 通年  〔対象〕 子ども、地域住民  〔教室名/場所/実施日〕</p> <p>① ばしょまえ交流館/カトリック釜石教会/週2回（釜石小学校区）  ② 小佐野放課後ひろば/小佐野公民館/隔週1回（小佐野小学校区）  ③ 平田 MOSICA/平田復興住宅集会室/週1回（平田小学校区）  ④ かつしっこひろば/甲子公民館/週1回（甲子小学校区）  ⑤ 鶴住居子どもひろば/長内集会所、砂子畑集会所等/週3回（鶴住居・栗林小学校区）</p> <p>〔1回あたりの子どもの参加人数〕 8人</p>		
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室1回あたりの子どもの参加人数は減少傾向にあるものの、協働活動支援員の各校への周知等により、放課後子ども教室への理解浸透が図られている。</p> <p>一方で子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーター（安全管理員）の減少に伴い、実施回数の減少、実施を見送った教室もある。様々な機会を活用し、放課後子ども教室の実施を周知するとともに、安全管理員の募集を行うことにより、活動のさらなる展開を図りたい。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	地域学校協働活動体制推進事業	令和4年度 決算額	4,505,009 円
担当課	まちづくり課		
目的	地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域コーディネーター配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うもの。		
内容	<p>[本部設置校] 釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、鶴住居小学校、栗林小学校、唐丹小学校</p> <p>[活動回数] 9校 828回</p> <p>[地域住民等の参画人数] 9校 延べ6,301人</p> <p>[運営協議会] 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催または中止</p> <p>[研修等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 5.18（水）／オンライン開催／釜石市から2人</li> <li>・地域とともにある学校づくり推進フォーラム／7.5（火）／大船渡市立三陸公民館／釜石市から22人</li> <li>・学校と地域の連携・協働研修会／8.9（火）／県立生涯学習推進センター／釜石市から7人</li> <li>・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修地区別講座 10.5（水）／大船渡市立三陸公民館／釜石市から2人</li> <li>・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修会 2.16（木）／岩手県立生涯学習推進センター／釜石市から5人</li> </ul>		
成果・課題	<p>令和4年度より市内全学区に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が設置されたことに併せ、地域学校協働本部を市内小学校9校に設置するに至った。</p> <p>協働本部設置校の増加により活動参画者も増加しており、感染対策を徹底しながら、地域コーディネーターの連絡調整等によって、各本部で子どもたちに多様な学習機会を提供することができた。</p> <p>令和5年度から学校運営協議会の活動も本格化してくることから、地域学校協働本部を中学校に拡大するなど、地域学校協働活動のさらなる推進を図りたい。</p>		

評 価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
-----	----------	--------	--

事業名	図書館管理運営費	令和4年度 決算額	18,980,506 円																		
担当課	まちづくり課図書館																				
目 的	市民の生涯学習を支え、読書活動の振興を図ることを目的に、適正な図書資料の整備や各種の図書館サービスの提供に努めるほか、図書館施設の適切な維持管理を行うもの。																				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石市立図書館協議会を年2回（5月・2月）開催した。</li> <li>・利用者の要望や地域の実情に考慮しながら、図書資料の整備に努めた。</li> <li>・利用者の学習活動を支援するため、企画展・巡回展（35回）を開催した。</li> <li>・としょかん映画会（12回）や、おはなし広場（10回）を開催した。</li> <li>・手づくり絵本教室の開催（2回）や、図書館報の発行（15回）を行った。</li> <li>・図書館こどもまつり（7月）や、図書館クリスマス会（12月）を開催した。</li> <li>・第2回ビブリオバトル in としょかん（7月）、夜のとしょかんお話し会（8月）、戦争講話と朗読の会（9月）、冬のとしょかんお話し会（2月）を開催した。</li> <li>・移動図書館車の円滑な運行に努めた。（市内51箇所）</li> <li>・絵本カーによる訪問（33回）や、市内小学校等への団体貸出を実施した。</li> <li>・図書の除菌や館内の消毒など新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した。</li> <li>・暖房用ボイラーの部品交換など、適時必要な箇所の修繕を行った。</li> </ul> <p>【利用状況】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用人数（人）</td> <td>25,584</td> <td>23,209</td> <td>20,584</td> <td>20,794</td> <td>20,136</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数（冊）</td> <td>95,917</td> <td>87,954</td> <td>79,886</td> <td>82,389</td> <td>77,338</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	H30	R1	R2	R3	R4	利用人数（人）	25,584	23,209	20,584	20,794	20,136	貸出冊数（冊）	95,917	87,954	79,886	82,389	77,338
年 度	H30	R1	R2	R3	R4																
利用人数（人）	25,584	23,209	20,584	20,794	20,136																
貸出冊数（冊）	95,917	87,954	79,886	82,389	77,338																
成果・課題	<p>生涯学習拠点の一つとして、図書館のポテンシャルが向上し、幼児から高齢者まで多世代が集う図書館機能の拡充が図られた。</p> <p>令和4年度における貸出の個人利用者数は令和3年度と比較してやや減少したが、イベントなどに来館する方が増えたことから、来館者数は増加の傾向にあり、土日の来館者は150人を超える日もあった。</p> <p>今後も、適正な図書の整備や利用者の幅広いニーズに対応し、市民の生涯学習拠点としての施設の維持を目指していく。</p>																				

評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
----	---	--------	--

事業名	ブックスタート整備充実事業	令和4年度 決算額	169,805 円
担当課	まちづくり課図書館		
目的	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して向き合い、あたたかくて楽しいことばの交流を持つことができるよう、ブックスタート活動を行うもの。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康推進課が行う離乳食指導「もぐもぐごっくん教室」（生後5～6ヵ月児対象）に併せて、ブックスタート事業を実施した。図書館が「赤ちゃんの駅」認定施設であることを説明し、ブックスタートガイドブックと図書館利用案内の配布を行った後、ボランティア団体「颯・2000」による乳幼児向けの絵本の紹介を兼ねた読み聞かせの実演を行った。（9回、乳児31人）</li> <li>健康推進課が行う「6ヵ月児健診」に併せて、ブックスタート事業を実施した。6ヵ月児健診の赤ちゃんに絵本1冊を贈呈した。（12回、乳児110人）</li> <li>図書館のブックスタートコーナーの書架を整理するとともに、読み聞かせボランティアのおすすめ絵本を展示するなど、子育て世代が利用しやすく、かつ過ごしやすい環境づくりを行った。</li> </ul>		
成果・課題	<p>実際に、会場内で読み聞かせを行うことで、読み聞かせそのものに興味を持っていただく機会となっており、参加した保護者にも好評である。</p> <p>開催後は、図書館のブックスタートコーナーを利用する親子連れなどの子育て世代が昨年度より多く見られるようになり来館者の増につながった。</p>		
評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校体育施設開放事業	令和4年度 決算額	885,360 円
担当課	教育委員会事務局総務課		

目 的	地域住民のスポーツ活動等の場の確保を図るため、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放するもの。														
内 容	<p>・開放校 12校（釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、栗林小学校、釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、唐丹中学校、大平中学校）</p> <p>・利用団体及び利用人数（延べ人数）</p> <table border="1" data-bbox="424 539 1206 736"> <thead> <tr> <th data-bbox="424 539 671 589">年 度</th> <th data-bbox="671 539 938 589">利用団体数</th> <th data-bbox="938 539 1206 589">利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="424 589 671 638">令和4年度</td> <td data-bbox="671 589 938 638">831 団体</td> <td data-bbox="938 589 1206 638">38,243 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 638 671 687">令和3年度</td> <td data-bbox="671 638 938 687">743 団体</td> <td data-bbox="938 638 1206 687">37,103 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 687 671 736">令和2年度</td> <td data-bbox="671 687 938 736">830 団体</td> <td data-bbox="938 687 1206 736">47,792 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	利用団体数	利用人数	令和4年度	831 団体	38,243 人	令和3年度	743 団体	37,103 人	令和2年度	830 団体	47,792 人
年 度	利用団体数	利用人数													
令和4年度	831 団体	38,243 人													
令和3年度	743 団体	37,103 人													
令和2年度	830 団体	47,792 人													
成果・課題	<p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大による利用制限のある中で、の事業実施となったが、開放校との連携・協力により、利用団体のスポーツ活動等の場を確保することができた。</p> <p>令和5年3月13日より、マスク着用の考え方の見直されたものの、今後も基本的な感染対策を講じつつ、本事業の目的を達成できるよう実施していく。</p> <p>課題としては、施設・備品の破損事例が報告されていることから、再発防止等を学校と連携して行っていく必要がある。</p>														
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）												



**基本施策 4 歴史・文化・芸術文化の振興**

**実施施策**

**(1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進**

事業名	埋蔵文化財保存事業	令和4年度 決算額	7,115,398 円
担当課	文化振興課		
目的	埋蔵文化財の適切な保護・保存・活用に向けた調査を実施するもの。		
内容	<p>市内各地の各種開発が遅滞なく進むよう、開発行為に伴う試掘調査や立会調査を実施した。分布調査については、平成13年度から市内の遺跡の詳細分布調査を継続実施し、平成20年度からは市内の遺跡を時代別に分けて分布調査を実施し、遺跡の内容把握に努めている。令和元年度からは、市内各地の縄文時代前期の遺跡の分布調査を実施し、報告書を刊行している。</p> <p>また、前年度に行った損壊の可能性のある平田塚群の3D測量調査の精度を上げるため、公共座標等の設置を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試掘調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>中妻トンネル遺跡 令和4年11月25日</li> <li>向定内遺跡 令和5年1月11日</li> </ul> </li> <li>・立会調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>室浜遺跡、銭箱沢遺跡、太田林遺跡</li> </ul> </li> <li>・分布調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>唐丹熊野川地区</li> </ul> </li> </ul>		
成果・課題	令和4年度の埋蔵文化財の分布調査及び試掘調査、立会調査等の調査業務は滞りなく実施し、報告書を刊行した。また、平田塚群の公共座標設置が完了した。ただし、近年、風水害の影響で女坂の一里塚や平田塚群などの地上に露出する遺跡の損傷が懸念されるため、保存方法を検討する必要がある。		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	文化財保護事業	令和4年度 決算額	1,561,202 円
担当課	文化振興課		
目的	釜石市に所在する文化財の適正な保護と活用を図るもの。		
内容	<p>文化財の適正な保護・活用を図るため、釜石市文化財保護審議会を開催するとともに、市文化財指定を行った。また、市内文化財の保存・周知を図るため、説明板の整備等を行った。</p> <p>○釜石市文化財保護審議会の開催 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回釜石市文化財保護審議会 開催日：令和4年8月23日（火） 内 容：①令和3年度文化財保護と活用事業の実施状況について ②令和4年度文化財保護と活用事業の計画について ③令和4年度釜石市文化財指定推進物件の取扱いについて ④その他（文化財パトロールの実施について、第19回有形文化財展の開催について、専門部会について）</li> <li>・第2回釜石市文化財保護審議会 開催日：令和4年10月31日（月） 内 容：①令和4年度釜石市文化財指定推進物件の取扱いについて ②その他（専門部会について、第19回有形文化財展の開催について）</li> <li>・第3回釜石市文化財保護審議会 開催日：令和5年3月20日（月） 内 容：①令和4年度釜石市指定文化財候補物件の指定について（答申） 有形文化財（歴史資料） 葛西昌丕墓碑 ②第19回有形文化財公開事業「かまいしの復興発掘調査展」の開催結果について ③今後の釜石市文化財指定推進物件の取扱いについて</li> <li>・文化財パトロール（文化財保護審議会） 開催日：令和4年10月31日（月） 場 所：①指定推進物件調査 甲子川の釜石、佐野秋溪墓碑、葛西昌丕墓碑 ②東日本大震災被災文化財の復旧確認 平田御番所跡、本郷御番所跡、本郷津波記念碑</li> </ul>		

	<p>○文化財の指定 「葛西昌丕墓碑」(釜石市指定文化財)</p> <p>○案内看板等の整備 8カ所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内看板新設：釜石の戦跡、仙台俘虜収容所第5分所跡</li> <li>・案内看板作成：鶴住居観音堂・甲子川の釜石(設置はR5年度予定)</li> <li>・案内看板張替：鮒供養碑・史跡柏館跡(老朽化した看板の張替)</li> <li>・標柱作成 : 乳神様(旧標柱の更新・設置はR5年度予定)</li> <li>・標柱更新 : 鮒供養碑(文字追加)</li> </ul>		
成果・課題	<p>文化財保護審議会においては活発な意見交換がなされ、「葛西昌丕墓碑」が新たに市指定文化財となった。文化財パトロールでは、市内の指定文化財候補物件や、震災で被災した文化財の復旧状況を確認した。</p> <p>老朽化した看板や標柱が多く更新が必要な状態にあること、文化財の指定に際し調査に時間を要することが課題となっている。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持・拡充)

事業名	有形文化財公開事業	令和4年度 決算額	732,634円
担当課	文化振興課		
目的	市内の文化財を公開し、文化財の意義やその重要性をアピールすることにより、文化財愛護思想の高揚を図るもの。		
内容	<p>第19回釜石市有形文化財公開事業『かまいしの復興発掘調査展』を開催し、復興発掘調査で発見された土器や石器、骨角器を中心に展示した。また、「かまいしの復興発掘調査報告会」では、「かまいしの復興発掘調査と文化財の復旧」、「さかなのまちの起源 国史跡 屋形遺跡」と題し、報告会を開催した。なお、内容の検討は、令和5年1月10日に釜石市文化財保護審議会第1専門部会にて行った。</p> <p>○第19回釜石市有形文化財公開事業『かまいしの復興発掘調査展』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間 令和5年2月4・5日(土・日)9:30~16:30</li> <li>・開催場所 釜石市民ホール TETTO ホール B</li> <li>・入場者数 総数 235人(アンケート回答数 100件) 内訳 103人(2月4日)・132人(2月5日)</li> </ul>		

	<p>○かまいしの復興発掘調査報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時 令和5年2月5日(日) 13:00~14:30</li> <li>・開催場所 チームスマイル釜石 PIT</li> <li>・報告内容 「かまいしの復興発掘調査と文化財の復旧」 釜石市文化振興課 手塚新太 「さかなのまちの起源 国史跡 屋形遺跡」 釜石市文化振興課 加藤幹樹</li> <li>・入場者数 90人</li> </ul>		
成果・課題	<p>入場者数やアンケートの回答結果から、多くの方々が文化財に興味を持っており、予想以上に文化財への関心の高さが伺われたことから、今後も積極的な情報発信により文化財愛護思想の高揚を図っていく。</p> <p>なお、準備期間や開催期間に課題が見られたため、事業を計画的に展開していく必要がある。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	歴史はっけん事業	令和4年度 決算額	3,727,488円
担当課	文化振興課		
目的	<p>市内に埋もれた歴史や文化財を発見または再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、広くまちづくりに活用するため、釜石市文化財保存活用地域計画の策定を目指すもの。</p>		
内容	<p>第1回釜石市文化財保存活用地域計画協議会を開催した。</p> <p>また、「戦争の記憶を教えてください」と称した市民向け調査や、市内文化財の調査及び文化財目録の作成、古文書調査、「釜石の戦跡」リーフレットを作成した。</p> <p>○釜石市文化財保存活用地域計画協議会開催 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回釜石市文化財保存活用地域計画協議会 開催日：令和5年2月24日 内 容：①文化財保存活用地域計画の概要について ②釜石市文化財保存活用地域計画の骨子について ③釜石市文化財保存活用地域計画協議会のスケジュールについて ④その他（釜石市の指定文化財について、アンケート結果</li> </ul>		

	<p>にみる市民の文化財への意識について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「戦争の記憶を教えてください」(市民向け調査)</li> <li>○文化財目録の作成</li> <li>○市内文化財の調査</li> <li>○古文書調査(野田家文書・三浦家文書・鈴子家文書)</li> <li>○戦跡調査と釜石の戦跡リーフレット作成(全中学生に配布)</li> </ul>		
成果・課題	<p>戦跡調査や「戦争の記憶を教えてください」(市民向け調査)において、太平洋戦争時の釜石の状況を把握し、「釜石の戦跡」リーフレットを作成した。「釜石の戦跡」を全中学生に配布することで、戦災を被った釜石の歴史を知ってもらうことができた。</p> <p>各種調査により、資料の集積は着実に進んでいる。今後も各種調査や情報収集、普及活動を行い、当市の歴史や文化財の保存活用に努めるが、釜石全域の歴史文化や文化財の調査を実施するためには相当の時間を要するため、大学や博物館などの研究機関との協力体制を更に強化する必要がある。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持・拡充)

事業名	鉄づくり体験事業	令和4年度 決算額	2,109,000 円
担当課	文化振興課		
目的	市内小中学生に対して、鉄に関わる歴史や技術を学び、体験を通して郷土への関心を深める補助を行うもの。		
内容	<p>鉄づくり体験事業は、鉄のまち釜石の歴史、モノづくりの大切さ・大変さを伝えることを目的とした郷土学習の柱となる体験学習である。洋式高炉を模したミニ炉を作成し、たたら製鐵の技法で鉄づくりに取り組む。市内の子供たちが義務教育の間に、1度は鉄を通じたモノづくりの機会に触れる機会を創出するため、令和4年度から市内中学一年生を対象に全中学校5校で実施した。※釜石中学校は人数が多いため2回に分けて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄づくり体験(総参加数生徒総数 236人)</li> </ul> <p style="text-align: center;">釜石東中学校                      32人                      令和4年7月5日・6日</p>		

	<p>釜石中学校(1回目) 60人 令和4年8月30日・31日          大平中学校 29人 令和4年9月1日・2日          釜石中学校(2回目) 60人 令和4年9月5日・6日          甲子中学校 44人 令和4年9月15日・16日          唐丹中学校 11人 令和4年9月28日・29日</p> <p>市内各小中校の要望により、世界遺産課と協力して座学や見学（体験）などを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄に関する座学(中学一年生)           <ul style="list-style-type: none"> <li>甲子中学校 5月31日 44人</li> <li>釜石東中学校 6月10日 32人 ※世界遺産課対応</li> <li>釜石中学校 6月23日 約20人 ※世界遺産課対応</li> </ul> </li> <li>※総合的な学習の選択科目(鉄の歴史・世界遺産)で実施</li> <li>唐丹中学校 8月19日 11人</li> <li>・鉄の歴史館見学(鑄造体験)           <ul style="list-style-type: none"> <li>甲子中学校 44人 ※世界遺産課対応</li> </ul> </li> <li>・国史跡橋野高炉跡の見学           <ul style="list-style-type: none"> <li>甲子中学校</li> </ul> </li> <li>・鉄の検定           <ul style="list-style-type: none"> <li>12月1日の前後一週間</li> <li>釜石中学校(109人) 双葉小学校(5人)</li> </ul> </li> </ul>		
成果・課題	<p>令和4年度は、市内全中学校1年生が鉄づくりを体験する郷土学習の流れを構築することができた。今後も、この鉄に関する郷土学習を継続して実施し、体験を通して釜石のものづくりの歴史を伝えるため、より効果的な郷土学習の在り方と実施体制を整備していく必要がある。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	屋形遺跡貝塚保存活用事業	令和4年度	7,271,082円
担当課	文化振興課	決算額	
目的	国史跡 屋形遺跡を保存活用するもの。		

<p>内 容</p>	<p>屋形遺跡の史跡保存活用計画を策定するため、奈良文化財研究所の実施する埋蔵文化財担当者技術研修の史跡整備保存活用計画策定コースを担当職員が受講し、修了証書を得た。</p> <p>遺跡の範囲及び保存状態の確認のための範囲内容確認調査を実施した。令和6年度に刊行予定である発掘調査報告書で、これまでの調査で出土した遺物の一部を図化するため、業務委託を実施した。また、史跡範囲外と史跡隣接遺跡までの間の分布調査を実施した。</p> <p>調査の結果、国史跡範囲の東側の谷は現代の削平を受けていることが明らかとなった。また、分布調査の結果、東谷の沢向に貝の散布を確認したが、土器が確認されなかったため詳細時期は不明である。今後範囲内要確認調査を実施し、貝層の規模と時期の確認をする必要がある。</p> <p>※発掘調査期間 令和5年11月10日～12月5日</p> <p>範囲内容確認調査は現地説明会にて一般公開している。また、地元の唐丹中学校の児童を対象に、現地見学会と発掘体験を実施した。</p> <p>第19回有形文化財公開事業の中で、屋形遺跡の展示や報告会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地見学会 参加人数 12人 令和4年11月12日</li> <li>・発掘体験 唐丹中学校1年生 11人 令和4年12月5日</li> <li>・第19回釜石市有形文化財公開事業『かまいしの復興発掘調査展』(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>開催期間 令和5年2月4・5日(土・日)9:30～16:30</li> <li>開催場所 釜石市民ホール TETTO ホール B</li> <li>入場者数 総数 235人(アンケート回答数 100件)</li> <li>内訳 103人(2月4日)・132人(2月5日)</li> </ul> </li> <li>・かまいしの復興発掘調査報告会(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日時 令和5年2月5日(日)13:00～14:30</li> <li>開催場所 チームスマイル釜石 PIT</li> <li>報告内容 「かまいしの復興発掘調査と文化財の復旧」 釜石市文化振興課 手塚新太 「さかなのまちの起源 国史跡 屋形遺跡」 釜石市文化振興課 加藤幹樹</li> </ul> </li> </ul>		
<p>成果・課題</p>	<p>屋形遺跡は、これまでの発掘調査成果を報告するなど基礎資料が整いつつある。活用面においては、市民の学びの場、学校教育や生涯学習の場で活用されているが、より市民のニーズに合う活用の在り方が求められている中で、史跡保存管理計画の早急な策定や、散策道や案内看板の整備が必要である。</p>		
<p>評 価</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>B</b></p>	<p>事業の継続性</p>	<p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 改善して継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持・拡充)</p>

**基本施策 4**  
実施施策

**歴史・文化・芸術文化の振興**

(2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

事業名	橋野高炉跡整備事業	令和4年度 決算額	26,864,345 円
担当課	世界遺産課		
目的	平成27年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、平成30年3月に策定した「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、調査、公開を実施するもの。		
内容	<p>橋野高炉跡史跡整備検討委員会を開催するとともに、三番高炉周辺の発掘調査、御日払所（土蔵）の補足調査、長屋跡想定地の試掘調査、採掘場跡の電巻室周辺の測量を実施した。発掘調査の結果、三番高炉石組の南側と南東側において、鑄造関連遺物が出土したことから、建物内で鑄物鑄造を行っていた痕跡を確認した。</p> <p>令和5年度は、長屋跡想定地の試掘調査、三番高炉石垣の補足調査及び二番高炉ブロックの水路の橋跡などの試掘調査を実施予定。</p>		
成果・課題	<p>各種調査により、橋野鉄鉱山の内容理解への深化があった。今後も発掘調査や修復事業、整備を進め、橋野鉄鉱山の保護、研究、景観の維持に努める。</p> <p>課題は、文化庁の補助事業費採択率が約1/2のため、計画に遅れが生じている。</p>		
評価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	橋野高炉跡修復・公開活用事業	令和4年度 決算額	22,580,074 円
担当課	世界遺産課		
目的	平成27年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、平成30年3月に策定した「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、整備を実施するもの。		



内 容	<p>高炉場跡内の二番高炉に隣接した長屋跡、種砕水車場南側の水路石垣の安定性をモニタリングするため石垣微動調査を実施した。あわせて、二番高炉ブロックの石垣（水路、平場）修復工事を実施した。</p> <p>令和5年度は、種砕水車場南側の水路石垣と長屋跡石垣の修復工事及び測量、令和4年度に修復した水路石垣石材の個別リストを作成する予定。</p>		
成果・課題	<p>石垣修復工事では、石材の積みなおし及びネットによる防護を行うことで、石垣の安定性を図った。工事に合わせて、石材の測量調査を行い保存に努めた。</p> <p>課題は、文化庁の補助事業費採択率が約1/2のため、計画に遅れが生じている。</p>		
評 価	<b>B</b>	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	旧釜石鉱山事務所活用事業	令和4年度 決算額	1,485,185 円														
担当課	世界遺産課																
目 的	国登録有形文化財の旧釜石鉱山事務所の適切な管理運営、活用を行うもの。																
内 容	<p>施設の適切な管理運営を行ったほか、イベント及び企画展等を開催した。</p> <p>《事業内容》</p> <p>夏休み特別企画「鉱山（やま）の宝探し」（鉱石採集イベント）</p> <p>岩石の種類を学ぶとともに標本箱を作った。</p> <p>開催日：7月30日 参加者：16人</p> <p>鉄の週間企画展「鉱山（やま）を極める」</p> <p>鉱区「新山」の資料を展示。</p> <p>期間：11月24日～12月8日 期間中入館者：37人</p> <p>【来場者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>849人</td> <td>1,088人</td> <td>867人</td> <td>949人</td> <td>789人</td> <td>1,150人</td> </tr> </tbody> </table>					H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	849人	1,088人	867人	949人	789人	1,150人
H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度												
849人	1,088人	867人	949人	789人	1,150人												

<p>成果・課題</p>	<p>令和4年度は、過去最高の来館者数となった。令和5年度は、国登録有形文化財10周年を迎えるため、イベント及び企画展を開催し、来館者数の増加に努めたい。</p>		
<p>評価</p>	<p><b>B</b></p>	<p>事業の継続性</p>	<p> <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 縮小して継続  <input type="checkbox"/> 改善して継続  <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充） </p>

# 「令和4年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」 有識者からの意見聴取会意見（要点）

有識者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、4つの基本施策、その施策に係る6つの取り組み項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

- 1 **開催日時** 令和5年7月31日（月）13時30分から15時45分まで
- 2 **会場** 市役所第4庁舎3階 教育委員会 会議室
- 3 **委員** 及川 美香子さん（釜石市小中学校長会会長）  
川崎 杏樹さん（いのちをつなぐ未来館/株式会社かまいしDMC）  
久保 知久さん（釜石市文化財保護審議会副会長）  
須藤 寛人さん（釜石市PTA連合会会長）  
常陸 奈緒子さん（高校生活動サポート/釜石まちづくり株式会社）

## 4 意見の聴取方法

- (1) 点検・評価調書を事前に配布し、あらかじめ内容を確認していただき、当日の会議において意見を伺った。
- (2) 妥当性については、「概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）」、「やや妥当でない（やや違っている）」、「妥当でない（違っている）」のいずれに該当するかという観点からを中心に意見を伺った。

## 5 意見の概要

### 基本施策1 未来を担う子どもたちの育成

#### (1) 生きる力を育む学校教育の充実

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○「いのちの教育」の推進・実践 日本各地で大雨や土砂災害、地震等が頻発している中、様々な災害に対する知識を深め、自ら考え状況に応じて判断、行動する子どもを育てることで、未来を担う子どもたちの育成につなげていただきたい。</p> <p>「いのちの教育」の実践においては、思考力、判断力、表現力といった能力を育みながら、地域の実情に応じた防災教育に取り組む必要がある。</p> <p>市内の沿岸部と内陸部の子どもたちでは、津波に対する意識に温度差を感じることがある。地域の特性を活かした取組として、津波をテーマとした防災教育を全市的に進めていただきたい。</p> <p>いのちに関わる大事な取組が、実践事例集の作成によって各校に共有され、効果的に進められている。</p> <p>○外国語指導助手（ALT）設置事業 これからの社会、高校、大学の入試等に対応していくためにも、ALTの活用は非常に大事になると思うので、これまで以上に取組を進めていただきたい。</p> <p>○教育研究事業 学校公開により、公開校が一致団結し教育の実践に磨きをかけることにつながっており、参観する教員にとっても他校の授業や学校経営に触れる貴重な機会となり、双方でいい刺激になっていると思うので今後も継続していただきたい。</p> <p>○学校文化体育振興会運営費補助金 各種大会の参加費、交通費等への助成に活用されているが、物価の高騰が続いていることから適切に助成をお願いしたい。</p>

<p>○防災教育・復興教育推進事業          年代的に震災を経験しているのは当時幼かった現在の中中学生ぐらいで、年々小中学生の防災に対する意識の低下を心配しており、大雨や洪水といった身近な災害から学ぶ防災教育も必要ではないか。          中学生であれば、未来やSDGsを含めた環境問題等を関連させ、自分たちが将来生きていくために必要な学びに発展させても良いのではないか。</p> <p>○ICT支援員配置事業          授業の中でも、支援員が教員及び子どもたちを適切にサポートしており、学校現場においてもICT環境に戸惑うことが少ないようなので、今後も必要な取組を更に進めていただきたい。          ICT環境は、日々進化、更新されることから、専門的な知識を有する支援員の配置は必要である。          今後もICTに不慣れな教員へのサポートをお願いしたい。</p> <p>○中学生相互交流事業          交流を通して活動したこと、発見したこと、感じたことをもっと情報発信しても良いのではないか。また、派遣して交流して終わりではなく、絆会議等とも関連させ地域に貢献する取組や、学校の防災教育の活動につながる取組とすることも必要ではないか。          オンラインによる交流も効果的である。          戦災の歴史、世界遺産といった両市に共通する特徴的な事柄で交流することで、子どもたちも受け入れやすく、学びを深めることにつながっているのではないか。</p>
---

## 基本施策2 子どもを育む環境づくり

- (1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進  
 (2)教育環境の充実とさらなる向上

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○「総合的な学習の時間」推進事業・かまいしコミュニティスクール推進事業          各校で地域の特性を活かしバリエーション豊かに取組が進められており、様々な活動を進める中でも大きな課題がないことから、事業が効果的に進められていると判断できる。          学校現場でも、助成により総合的な学習の充実が図られて感謝している。</p> <p>○学校給食センター運営費          市内の生産者は年々減少していると思うが、地場産の食材使用により地産地消を継続し、子どもたちが市内の美味しい食材に理解を深めるような取組につなげてほしい。          釜石はまゆりサクラマスのように新しい食材を取り入れてほしい。          残量調査の結果を踏まえ、味付けや調理方法に加え主食とおかずの組み合わせを工夫するなど、栄養バランスの取れた美味しい学校給食の提供をお願いしたい。          防災給食として非常食を活用した「救給カレー」は素晴らしい取組であり、新聞等のメディアに取り上げてもらうよう積極的にPRしても良いのではないか。</p> <p>○岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会運営補助金          同校定時制は、小中学校で問題を抱えた子どもたちの受け皿となる一面もあるが、入学後の生徒の欠席率は低く、意欲的に学校活動を行っていると感じているので、今後についても助成を継続していただきたい。          フリースクールが無い当地域にとっては、その役割を担う学校とも考えられることから、市教育委員会としても助成していく必要がある。          評価は「A」が妥当である。</p>

<p>○学校施設トイレ洋式化事業・学校環境整備事業 多くの学校が避難所となっており、トイレの洋式化は必要な改修である。また、学校施設の改修、設備の修繕等で、日頃から迅速に対応していると思うが、今後も計画的に教育環境を充実させてほしい。</p> <p>○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 ボランティア的に登下校をサポート、見守りをしてくれる団体が増えている中、指導的な役割を担うスクールガードリーダーの存在は心強い。子どもたちを見守る体制の確立のため、交通安全に関する情報共有や取組を継続してほしい。</p> <p>○こころのケア事業 様々な影響により心理的に不安定な要素を持つ児童生徒が多くいる中、スクールカウンセラーの丁寧な対応に感謝しており、教員とは違う視点でカウンセリングしていただけることで助かっている。ただ、対応を希望する児童生徒・保護者が多くなっており、ケースによっては緊急を要する場合もあるため、増員による人的体制の充実を検討していただきたい。 スクールカウンセラーは大事な役割を担っている。ケースによっては非行や犯罪の引き金になるような場面で対応していただくことで、その抑止にもつながっているのではないかと。</p> <p>○スクールバス運行事業 事故も無く安全安心にスクールバスが運行され、課題もなく目的を達成していると思われる。評価は「A」が妥当である。</p>
---

### 基本施策3 生涯学習・スポーツの振興

#### (1) 学びと実践が循環しつながりをつくり出す生涯学習社会の形成

<p>妥当性について</p>	<p>概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）</p>
<p>主な意見</p>	<p>○釜石市はたちのつどい開催事業 実行委員会として自ら企画し開催する式典としたのは良かった。これからも参加して楽しい式典とするためにも、開催後の振り返りを行うなど結果が次年度につながる取組としてほしい。 企画した委員自らも楽しめる式典となっているのではないかと。</p> <p>○生涯学習によるまちづくり推進事業 こどもエコクラブは、子どもたちのいい学びの場となっており、より関心の高いテーマで実施されることを期待している。 立正大学デリバリーカレッジは、テーマが少し硬いような印象があり、参加者数を見ても改善の余地があるのではないかと。また、もっと身近な話題や新たな視点からテーマを探ることで、市民が興味や関心を抱くような新たな取組を考える必要あるのではないかと。 生涯学習まちづくり出前講座は、評判も良くいい取組だと思っているので、増加している小中学校からの申込みにもしっかり対応していただきたい。</p> <p>○地域学校協働活動体制推進事業 地域コーディネーターが配置されていない学校への配慮等をお願いしたい。 地域コーディネーターには、学校と地域をつなぐ役割を担っていただき、地域との協働により学校の負担を軽減するような取組につなげてほしい。</p> <p>○ブックスタート整備充実事業 今の子育て世代の親は、本との関りが浅いように感じるため、親が本に関心を寄せるきっかけとしても是非継続していただきたい。非常にいい取組である。 親からの読み聞かせで、子どもたちが小さい頃から本に親しむ習慣につながることも考えられるので取組を続けてほしい。</p>

#### 基本施策4 歴史・文化・芸術文化の振興

##### (1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

##### (2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○埋蔵文化財保存事業・文化財保護事業 土木作業で地道な根気のいる事業であると思うが、今後も計画的に進めていきたい。</p> <p>世の中に出ていない文化財がまだあると思うので取組を進めてほしい。 無形文化財が減少しているように感じている、後継者の確保等の課題はあると思うが、保存に向け必要な取組をお願いしたい。</p> <p>○歴史はっけん事業 戦跡調査や市民向け調査により、「釜石の戦跡」リーフレットを作成し、中学生に配布したことを大変興味深く思っている。年々、戦争を体験された方が減少する中での取組なので、事業を進める上で戦争の体験談を聞いた次世代の話を聞くことも一つの手段となるのではないか。 ロシアによるウクライナ侵攻など現在の事象にも目を向け、子どもたちが自分事のように受け入れやすい取組も必要ではないか。</p> <p>○鉄づくり体験事業 座学に関連して、市内の鉄鋼関係の企業で、鉄に関する話題で面白い話をしてくれる方がいる。鉄鉱石の採取から製鉄の工程、鉄が無限に再生可能なこと、どのように鉄が橋や道路の部材として利用されるのか、現代の鉄に関する話も楽しいものなので、一つのテーマとして取り上げられることを検討していただきたい。</p> <p>○橋野高炉跡整備事業 市の中心部から離れた世界遺産で集客が難しい面もあると思うが、貴重な世界遺産、観光資源であり整備を進めてほしい。いのちをつなぐ未来館等の近隣施設との連携も面白いのではないか。</p> <p>○旧釜石鉱山事務所活用事業 以前は旧釜石鉱山の坑道をトロッコで見学することが出来た。坑内の採石場や空洞ホールの見学は、子どもたちにとって貴重な体験になると思うので、見学再開に向けた関係機関との調整、検討をお願いしたい。</p>

#### 6 その他（全般を通しての意見） 特になし